

平成 27 年度事業報告書 附属明細書

附属明細書 1 協力会員校等

附属明細書 2 主催セミナーに関する事項

附属明細書 3 留学生会館入居状況

附属明細書 4 留学生論文の表彰に関する事項

協力会員校等一覧

平成28年 3 月 31 日現在

No.	協力会員校等名称	No.	協力会員校等名称
1	埼玉大学	24	中央大学
2	千葉大学	25	帝京大学
3	東京工業大学	26	東京経済大学
4	東京外国語大学	27	東京工科大学
5	東京学芸大学	28	東京都市大学
6	東京農工大学	29	東京理科大学
7	お茶の水女子大学	30	東洋大学
8	電気通信大学	31	日本女子大学
9	一橋大学	32	法政大学
10	国際教養大学	33	明治大学
11	首都大学東京	34	明星大学
12	青山学院大学	35	立教大学
13	桜美林大学	36	立正大学
14	大妻女子大学	37	早稲田大学
15	慶応義塾大学	38	東洋英和女学院大学
16	恵泉女学園大学	39	防衛大学校
17	工学院大学	40	東京工業高等専門学校
18	国際基督教大学	41	白梅学園短期大学
19	駒澤大学	42	日米会話学院 財)国際教育振興会
20	芝浦工業大学	43	(株)ホームスクール 横浜ゼミナール
21	順天堂大学	44	(株)スリーボンド
22	上智大学	45	幼体連スポーツクラブ
23	創価大学		

平成 27 年度事業報告 附属明細書 主催セミナーに関する事項

事業名	第 4 回 EU セミナー
期日	9 月 18 日 (金) ~ 20 日 (日)
主題	EU の新たな挑戦——危機をチャンスに変えて——
対象	大学生、社会人
趣旨	ギリシャの財政危機やウクライナ情勢は予断を許さない。しかしユーロ経済圏は危機を脱し、銀行同盟に向けた道を歩み始め、エネルギー同盟は形を整えつつある。様々な国際的不安定情勢をめぐって、対話枠組みをともなった。EU 共通防衛政策の多面的な取り組みも進められている。もともと欧州統合はつねにある種の危機ばねを契機として制度設計を進め、前進をしてきた。その意味では EU はひとりの欧州統合悲観論から脱して、今さらなる新しい段階に向かっている。本年はこのような立場から EU の現状と未来について問題提起し、議論する。
講師・企画委員	ジョナサン・ハットウェル (駐日欧州連合代表部 副代表・公使) 田中素香 (中央大学経済研究所客員研究員) ** 太田瑞希子 (亜細亜大学国際関係学部講師) ** 蓮見雄 (立正大学経済学部教授) ** 中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授) ** 福田耕治 (早稲田大学政治経済学術院教授) ** 押村高 (青山学院大学国際政治経済学部学部長・教授) ** 渡邊啓貴 (東京外国語大学国際関係所所長・教授) ** 小久保康之 (東洋英和女学院大学国際社会学部教授) **
定員	70 名
参加者	103 名
アンケート結果	<p style="text-align: center;">セミナー満足度</p> <p>満足 43%</p> <p>どちらかという満足 45%</p> <p>どちらかという不満 12%</p> <p>不満 0%</p>

(注) **印は企画委員を兼ねた講師

事業名	第5回新任教員研修セミナー										
期日	8月29日(土)～8月31日(月)										
対象	国・公・私立大学等で授業を担当する新任教員										
趣旨	多様な(価値観、目的、能力等をもつ)学生に大学教育を受ける機会が飛躍的に拡大した今日、学生の意欲を高め、能動的な学びを通して自ら課題を発見して解決する力を培うことは、大学教員に課せられた最も重要なテーマである。新任教員研修セミナーでは、国公立大学の枠を越えた合宿形式の相互研修により、新たな時代にふさわしい大学教育のあり方を探る。										
講師・企画委員	鎌田学(セミナーハウスファシリテーター) 有賀清一(桜美林大学講師) 村山光子(明星大学学生サポートセンター長) 江夏由樹(一橋大学特任教授・名誉教授)** 菊地滋夫(明星大学教授)** 荒木晶子(桜美林大学教授)** 北原和夫(東京理科大学教授)** 史傑(電気通信大学教授)**										
定員	40名										
参加者	27名										
アンケート結果	<p style="text-align: center;">セミナー満足度</p> <table border="1"> <caption>アンケート結果 (満足度)</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>85%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといふと満足</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといふと不満</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	満足	85%	どちらかといふと満足	8%	どちらかといふと不満	7%	不満	0%
満足度	割合										
満足	85%										
どちらかといふと満足	8%										
どちらかといふと不満	7%										
不満	0%										

(注) **印は企画委員を兼ねた講師

事業名	第 32 回大学職員セミナー														
期日	11 月 27 日（金）～28 日（土）														
主題	大学職員の可能性——大学改革を牽引する職員を目指して——														
趣旨	<p>大学職員が国・公・私立の違いを超えて、宿泊を共にしながら密度の濃い時間を共有し語り合う。</p> <p>大きな変革に職員が主体的に取り組むにはどのような力が必要かを考える。現在具体的な検討が進められている高大接続のあり方と入学選抜に焦点を当てた。進行中の改革について、そのねらいや課題を考えるとともに、グループディスカッションを通じて喫緊の課題に対する具体的な提案を行うというバーチャル大学改革を体験する。</p>														
講師・企画委員	後藤 健夫（教育ジャーナリスト） 高野 泰彦（慶應義塾大学入学センター部長） 近藤清之（法政大学学務部長・入学センター長）** 山本眞一（桜美林大学大学院教授）** 青木加奈子（高崎経済大学教育教育グループ職員）** 中山眞一（明治大学経営企画部広報課長）**														
定員	40 名														
参加者	37 名														
アンケート結果	<p style="text-align: center;">セミナー満足度</p> <table border="1"> <caption>アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>57%</td> </tr> <tr> <td>どちらかという満足</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>分からない</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	満足	57%	どちらかという満足	30%	無回答	8%	分からない	3%	不満	2%	不満	0%
満足度	割合														
満足	57%														
どちらかという満足	30%														
無回答	8%														
分からない	3%														
不満	2%														
不満	0%														

(注) **印は企画委員を兼ねた講師

事業名	第12回教員免許状更新講習（対面式）																				
期日	8月3日（月）～6日（木）																				
主題																					
趣旨	本セミナーは、4日間の短期集中講習により、免許状更新に必要な必修12時間・選択18時間の講習修了を可能とし、大学の現役／元教員による教育問題への真摯な講座提供と、受講する教員どうしの交流、ネットワークづくりをねらいとして開講される。																				
講師・企画委員	安田忠郎（教員免許更新センター長）** 蔦澤元晴（早稲田大学大学院講師） 佐々木掌子（立教女学院短期大学講師） 原田淳（立教大学講師） 山内芳文（筑波大学名誉教授） 吉田真史（東京都市大学教授）																				
定員	450名																				
参加者	374名																				
アンケート結果	<p style="text-align: center;">セミナー満足度（必修）</p> <table border="1"> <caption>必修セミナー満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>26%</td> </tr> <tr> <td>どちらかという と満足</td> <td>61%</td> </tr> <tr> <td>どちらかという と不満</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">セミナー満足度（選択）</p> <table border="1"> <caption>選択セミナー満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>53%</td> </tr> <tr> <td>どちらかという と満足</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td>どちらかという と不満</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	満足	26%	どちらかという と満足	61%	どちらかという と不満	12%	不満	1%	満足度	割合	満足	53%	どちらかという と満足	44%	どちらかという と不満	3%	不満	0%
満足度	割合																				
満足	26%																				
どちらかという と満足	61%																				
どちらかという と不満	12%																				
不満	1%																				
満足度	割合																				
満足	53%																				
どちらかという と満足	44%																				
どちらかという と不満	3%																				
不満	0%																				

（注）**印は企画委員を兼ねた講師

事業名	第13回教員免許状更新講習（対面式）																
期日	12月24日（木）～12月27日（日）																
主題																	
趣旨	本セミナーは、4日間の短期集中講習により、免許状更新に必要な必修12時間・選択18時間の講習修了を可能とし、大学の現役／元教員による教育問題への真摯な講座提供と、受講する教員どうしの交流、ネットワークづくりをねらいとして開講される。																
講師・企画委員	安田忠郎（教員免許更新センター長）** 蔦澤元晴（早稲田大学大学院講師） 佐々木掌子（立教女学院短期大学講師） 荒木晶子（桜美林大学教授） 山内芳文（東日本国際大学特任教授） 吉田真史（東京都市大学教授） 松岡信之（国際基督教大学名誉教授）																
定員	365名																
参加者	300名																
アンケート結果	<p style="text-align: center;">セミナー満足度（必修）</p> <table border="1"> <caption>セミナー満足度（必修）</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>54%</td> </tr> <tr> <td>どちらかというとうと満足</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">セミナー満足度（選択）</p> <table border="1"> <caption>セミナー満足度（選択）</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>どちらかというとうと満足</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	満足	54%	どちらかというとうと満足	45%	不満	0%	満足度	割合	満足	76%	どちらかというとうと満足	22%	不満	0%
満足度	割合																
満足	54%																
どちらかというとうと満足	45%																
不満	0%																
満足度	割合																
満足	76%																
どちらかというとうと満足	22%																
不満	0%																

（注）**印は企画委員を兼ねた講師

事業名	第14回教員免許状更新講習（対面式）																		
期日	1月20日（水）～23日（土）																		
主題																			
趣旨	本セミナーは、4日間の短期集中講習により、免許状更新に必要な必修12時間・選択18時間の講習修了を可能とし、大学の現役／元教員による教育問題への真摯な講座提供と、受講する教員どうしの交流、ネットワークづくりをねらいとして開講された。																		
講師・企画委員	安田忠郎（教員免許更新センター長）** 蔦澤元晴（早稲田大学大学院客員教授） 佐々木掌子（立教女学院短期大学講師） 谷川建司（京都大学大学院講師） 田中三彦（科学ジャーナリスト） 松岡信之（国際基督教大学名誉教授）																		
定員	365名																		
参加者	283名																		
アンケート結果	<p style="text-align: center;">セミナー満足度（必修）</p> <table border="1"> <caption>必修セミナー満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>43%</td> </tr> <tr> <td>どちらかという</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td>どちらかという と 不満</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">セミナー満足度（選択）</p> <table border="1"> <caption>選択セミナー満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>69%</td> </tr> <tr> <td>どちらかという と 不満</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>満足</td> <td>28%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	満足	43%	どちらかという	45%	どちらかという と 不満	9%	不満	3%	満足度	割合	満足	69%	どちらかという と 不満	3%	満足	28%
満足度	割合																		
満足	43%																		
どちらかという	45%																		
どちらかという と 不満	9%																		
不満	3%																		
満足度	割合																		
満足	69%																		
どちらかという と 不満	3%																		
満足	28%																		

（注）**印は企画委員を兼ねた講師

事業名	eラーニングによる教員免許状更新講習												
期日	1月13日(水)～3月31日(木)												
主題													
趣旨	本セミナーはインターネットを利用したeラーニングにより、免許状更新に必要な選択科目3科目(18時間)を修了することが可能な講習である。自宅のパソコンでいつでも何度でも自由に受講ができる。試験はセミナーハウスのパソコンブースにて平日の都合の良い日時に受験ができ、合格者にはその場で履修証が授与される。平成28年度からは教員免許状更新講習に必要な30時間全てが受講できる予定。												
講師	有賀清一(桜美林大学講師) 村瀬幸一(元一橋大学講師) 葛澤元晴(早稲田大学大学院講師)												
定員	—												
参加者	61名												
アンケート結果	<p style="text-align: center;">セミナー満足度(選択科目)</p> <table border="1"> <caption>アンケート結果 (満足度)</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>64%</td> </tr> <tr> <td>どちらかという満足</td> <td>29%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>どちらかという不満</td> <td>2%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	満足	64%	どちらかという満足	29%	無回答	3%	不満	2%	どちらかという不満	2%
満足度	割合												
満足	64%												
どちらかという満足	29%												
無回答	3%												
不満	2%												
どちらかという不満	2%												

1. 平成 28 年 3 月現在入居状況

学校名	所属			計	性別	
	大学院生 (研究生を含む)	学部生	客員研究員		男	女
首都大学東京	6		2	8	3	5
東京工科大学	1	1		2	2	
東京大学	1			1		1
中央大学	4			4	2	2
帝京大学		1		1	1	
電気通信大学	1			1	1	
明星大学	1	6		7	3	4
国文学研究資料館	1			1		1
合計	15	8	2	25	12	13

2. 国別留学生数

国名	計	大学院生	学部生	客員研究員
イタリア	1	1		
インド共和国	1			1
カンボジア	2	1	1	
中国	18	11	7	
中国台湾	2	1		1
ロシア	1	1		
合計	25	15	8	2

平成 27 年度事業報告 附属明細書 4 留学生論文の表彰に関する事項

留学生論文コンクールは留学生の日本語による論文作成能力を向上させる機会を提供すると共に、日本留学の成果を発信し、国際相互理解及び国際交流を促進することを目的に平成 21 年度から実施している。今年度は全国 29 大学の留学生（出身国は 11 カ国 1 地域）から 38 作品の応募があり、下記のとおり受賞者 6 名が決定した。

1. 応募作品数：38 作品
2. 応募者内訳
 - (1) 大学数：29 大学
 - (2) 国籍：11 ヶ国 1 地域
3. 入賞作品一覧

賞別	氏名	大学名	国籍	論 題
金	柳沢アーサー	東京大学	ニュージーランド	アフリカでの野生生物の絶滅
銀	寧 昊	神田外語大学	中国	ステレオタイプとメディアの関係
銀	崔 洛元	日本文理大学	韓国	海洋ごみ処理のための国際機関の新設
銅	張 柱安	信州大学	中国香港	地球の森林減少と劣化をめぐる問題 —森林と人間の関わり焦点を—
銅	Marta Szczygiel	大阪大学	ポーランド	恥ずかしくて無視される問題 —インドでの野外排泄の現状—
銅	金 海元	東京外語大学	韓国	世界の難民問題と日本における難民の受け入れ